

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2024年9月1日号 293号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【9月の予定】

- ◆9月14日（土）（雨天翌日）
・竹林整備
- ◆9月28日（土）（雨天翌日）
・花広場整備
* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆9月7日（土）（10:00～12:00）
・ヤマユ連・手作りカフェー
平和台集会所
問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

7月13日（土） 晴 参加者10名

桜広場辺の作業を行いました。草刈りとテングス病にかかった竹の伐採です。草刈りは5月にも行いましたが、住宅地に近いこともあり、再度行いました。塩飴をなめ、休息を取りながらの作業となりました。

竹林は少し稈（幹の部分）が細めですが、急に茂ってきました。今度は病気にならず、元気にまっすぐに育って欲しいと思います。

中央広場へ帰る途中の花広場で、ヒマワリのつぼみが大きくなっていました。高さも去年より大きくなり、楽しみです。隣ではヒオウギが橙色の元気な花を咲かせていました。整理体操を行い、納会と新しい緑地看板の設置について話し合いました。（伊藤）



ヒマワリ

【緑地に咲く】ヒマワリ（向日葵）



キク科の一年草で、花は黄色、種は食用になります。

名前は太陽の動きを追うように花の向きが回ることに由来しています。ただしこの動きは生長に伴うもので、実際に太陽を追って動くのは生長が盛んな若い時代です。サンフラワー（英）、ソレイユ（仏）とも呼ばれています。（長谷部）

7月27日（土） 晴 参加者9名

今日も酷暑の中、散策路周囲の草刈りを実施した。中央広場には、会長が斜面に沿って新たな遊歩道を作るべく歩道予定の箇所に杭とテープで位置出しをしてくれており、それに合わせて草刈りを行った。中央広場を一周できるようになり、木々や鳥の観察がしやすくなります。



「ぐりとぐら」のカステラ

作業は早めに切り上げ、夏休み前の納会を行いました。恒例の焼きそばに加え、各自が作った料理、お菓子をもち寄り、今年前半も安全に作業ができ、西緑地の整備に尽力してきたことを祝して乾杯！ 木陰の下で

初めて聞く話で盛り上がりながら、沢山いただきおなか満腹。昼に家に帰り、汗で濡れた服を脱ぎ捨てシャワーを浴び、エアコンが効いた部屋でお昼寝、一日があっという間に過ぎました。

8月の緑地作業は休みの予定ですが、第4土曜日に臨時作業があるかもしれません。（藤井）

8月も作業！

8月24日 晴 参加者 5名

蒸し暑い！ この言葉しかない。

中央広場の周りの通路はSさんが今日は欠席ということで木曜に刈り払い機で草刈済なので、全員で花広場の草刈をする。通路は刈り払い機で、残りは鎌で刈り取る。

40分ほど経ったところで水飲み休憩をとる。人間の自業自得とは言え、この気候では小まめに水分補給をしないと屋外作業はできない。一度座って休むと立ち上がるのが辛い、気を取り直して作業再開。草を刈ると色づいた柿の実が幾つも落ちていた。

樹を見ると残っているのは2個ほど。今年は干し柿は無理のよう。

人間は蒸し暑さで倒れそうなのに草は元気満々。そこら中に蔓状のものがはびこり、どくだみやキツネノマゴは我が世の春（夏？）と伸び伸び。あまりの暑さに早めに終了する。次の作業日は少し過ごしやすくなるように。

（宇野）



僕も元気だよ！

（キマダラカメムシ幼虫・・・最近増えているそうです）

【緑地の樹】

ヌルデ

プロフィール:ウウルシ科ウウルシ属の落葉小高木

下の道から緑地に入る登り口のそばに、ヌルデの木を見つけました。羽状複葉の葉ですが、小葉と小葉の間の軸に、ひれがついています。いったい何のためにこんなものがついているのか・・・

そしてその葉には小さい虫こぶがいっぱいついていました。これはヌルデハイボケフシというものだそうで、ハイボケとはなんとひどい名前！とびっくりします。でも実は、ハ（葉）にイボ（疣）のようについた、ケ（毛）のあるフシ（虫こぶ）の意味だそうです。

ところで、ヌルデにはもっと大きな虫こぶ（ヌルデミミフシ）がつくこともあるそうです。その虫こぶにはタンニンが多く含

まれていて、江戸時代にはお歯黒や白髪染めなどに使われたとか。今度そんな虫こぶを見つけたら、染めてみましょうか。

（小川）



- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しみましょう。

- ◆ ご意見がありましたらnishiryokuchi@gmail.com まで

「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）

<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.com まで

【緑地を楽しむ本】

『成瀬は天下をりにいく』

宮島未奈/著

新潮社



14歳の夏休み前から18歳の春まで、滋賀県の膳所を舞台とした、成瀬あかりと幼馴染の島崎みゆきの、青春物語。

成瀬あかりは破天荒ながら実行力と知性と集中力のある、愛すべき人物です。200歳まで生きるのだと魅力的なことも言い、そうなり

そうな気がします。

ポジティブな思考、自分が面白いと思ったことに、とことん準備をして応援の仲間作りも上手。あと味が爽やかな作品であること間違いありません。

上手く言えませんが、この夏のParisオリンピック、ブレイキンなどビックリしました。多様化した道具の登場と変化と進化。競技者達のインタビューを見ると素直で爽やか、競うというより体を動かすことを、ただただ楽しんでいる感じがして成瀬あかりと同じ世代の感じがしました。

無数にいる生き物の中のヒトの変化、気になります。

(齋藤光代)

【やままゆ連・手作りカフェー】

カラムシ

7月6日(土) 10:00~12:00 平和台集会所

梅雨が明けたかと思うような暑い、梅雨の中休みの1日。カラムシ(苧麻)で繊維採りをしました。

カラムシは西緑地の端にたくさん生えています。緑地の入り口からカラムシにたどり着くまでに、大汗をかいてしまいました。

1m以上あるカラムシの茎の葉をむしり、茎の真ん中辺を2か所折って皮をはぎ取ります。はぎとった皮を水に浸けてから、木製の台の上で金属のへらを使ってしごきます。しごと、緑色の外皮と茶色の毛が取れて、茶色の繊維が残ります。これが苧麻の糸になります。なかなかきれいにしごけません。指南役のKさんはさすが上手!

皮をむいた後の茎はお盆の迎え火のおがらになると、取り置かれました。無駄のない植物ですね。

カラムシの繊維を好きな太さに裂き、2本の端を結んで机等に固定します。2本を同じ

方向によりをかけながら絡ませていき、予定の長さになったら紐の完成です。

何人かはトンボを作りました。ペンダントにしようか。物掛けを作ろうか。私はお玉やゴムベラのかけ紐を作ることにしました。

カフェメニュー：わらび餅、カステラ

(齋藤好子)



ば